



小川南中学校 1年  
内山 旬人しゅんとさん (横町)

兄の影響で自然や生き物が好きになり、地域の自然を調査・記録する「小美玉生物の会」の会員に。キバネツトンボの研究は小学5年生から始め、2021年、小学6年生で応募したコンクールで文部科学大臣賞を受賞した。



キバネ(黄色い翅の)ツトンボ



フィールド調査で写真や動画を撮影  
キバネツトンボはトンボではなく、ツトンボというウスバカゲロウの仲間です。成虫が観察できるのは4～6月ごろ。全国的には珍しい虫ですが、小美玉市には豊かに生息している場所があり、すぐに観察に行けるのでうれしいです。



旬なあの人に聞く「あなたのダイヤモンドは？」。今回は、自然科学観察コンクール(シゼコン)の小学生の部で文部科学大臣賞(最高賞)を受賞した内山旬人さんにお話を伺いました。

## 小美玉市の豊かな自然 大人になっても見守り続けたい

全国的に珍しいキバネツトンボの生態を研究しています。きっかけは、小学3年生から所属する「小美玉生物の会」の調査会で、この昆虫を研究する人が少なく、生態がよくわかっていないと知ったこと。それから自分で調べてみたいと思い、観察や実験に取り組みました。

自然や生き物が好きなので、フィールドでの虫捕りや観察は楽しいです。暑さも虫刺されも苦になりません。観察していると、「これってこうじゃないか？」と気づく瞬間があつて、それを検証してだんだん確

信していく感じがすごく面白いです。大変だったことは、毎日大量にある記録やまとめ作業。机に向かう作業はつらかったです。春から中学生になり部活や勉強が忙しいので、これまでのようにたくさん時間をかける研究は難しくなると思います。でも、新たに浮かんだ仮説にテーマを絞って、これからはキバネツトンボの研究に取り組みたいです。そして、大人になっても地元に住んで、「小美玉生物の会」の皆さんがそうしているように、この地域の自然をずっと見守っていききたいです。

### 第62回自然科学観察コンクール受賞記念

## 自由研究ポスター作品展

期間 6月1日(水)-6月30日(木)

※26日(日)は受賞者による研究発表・談話会を開催予定

会場 生涯学習センター コスモス 1階展示ホール

自由研究の全国コンクールである第62回自然科学観察コンクール(シゼコン)で最高賞4賞を受賞した、県内の児童生徒の作品ポスターを一堂に集めた作品展です。子どもたちの優れた研究作品をご覧ください。

問い合わせ 生涯学習課 ☎0299-26-9111

### 展示作品の作者(所属・学年は受賞時)

- ・小川南小学校 6年 内山旬人さん(文部科学大臣賞)
- ・堅倉小学校 4年 中山咲季さん、1年 佳穂さん(オリパス特別賞)
- ・土浦日大中等教育学校 2年 池田拓実さん(文部科学大臣賞)
- ・水海道西中学校 3年 猪瀬広貴さん、春佳さん(オリパス特別賞)

### 自然科学観察コンクール(シゼコン)とは

全国の小・中学生を対象とした理科自由研究コンクールです。



シゼコンホームページで  
審査講評と受賞のことばを  
ご覧いただけます▶

